

## 会議録要旨

会 議 名	第 1 5 回恵庭まちづくり基本条例制定市民委員会
日時・場所	平成 2 4 年 9 月 7 日（金）市民会館大会議室
会議参加者	委員長 横山純一 副委員長 小山忠弘 委員 泉谷 清 鎌倉洲夫 雪下 章 相坂正一 山口裕美 高橋 修 田中亜希子 石垣周一 菅原宏輔 藤本恵美子 高橋英志 事務局 桑山課長 広中主査 佐々木主査 大林主任

開会
第 1 5 回市民委員会を開始します。本日は、C 部会からの報告です。それでは事務局から報告をお願いします。
事務局 C 部会の検討結果について報告します。はじめに市民の役割についてですが、役割を書く前に市民の定義について話し合いました。どういう人を市民と定義付けるかについては、まずは住民、そして市内に通勤又は通学する人、それから市内で活動する個人又は団体という 3 タイプの人を市民と定義付けることにしました。議論の中では、通勤や通学以外に市内で活動というイメージはなかなか掴めないが、外す必要はないということと、函館市や苫小牧市のように団体のみに限定する必要もないということでこのような定義になりました。
次に検討したのが、不利益条項を盛り込むような規定ぶりにするかという点で、市民がまちづくりに参加するのはいずれにしても自主性・自発性が必要であることから、強く責務として条例に書く効果も考えられるが、場合によっては市民の反発も招くことも考えられ、規定ぶりとしては不利益条項を盛り込まなくてもよいようなものにしようとなりました。書きぶりとしては、「権利を有する」「義務がある」という表現を避けることとしました。これは、「権利がある」と書くのは少し押し付けがましい感じがするということもあり、「できる」と書く権利があることを表すことができるので、そのように書いたというものです。
具体的に第 1 項ですが、「まちづくりに参加する」「提案する」ということを、「参画する」という言葉にまとめました。また、第 1 項はツーセンテンスで書いていて、市民が言い放しにならないように責任を持つということを後段に書いています。第 1 項の主旨は、自発的参加と責任を持つということです。
次に第 2 項ですが、市民が情報を受ける権利と情報を取得する努力義務を書いています。権利でもあり義務でもあることをひとつにまとめて書きました。
第 3 項も権利と義務をまとめて書いています。行政サービスを等しく受ける権利と応分の負担をするということを書きました。
そのほか、C 部会の意見として、市長の責務や議員の責務を書く必要もありますが、そもそも選んだのは市民なのだから、選ぶ側の責務も考えるべきではないかというものがありました。具体的に規定事項にはなっていませんが、委員会にご報告させていただきます。
委員長 市民の役割ということで報告されていますが、皆さんからご意見ををお願いします。私からは、第 1 項で「。この場合において、」としています。他のパートでは用いない書きぶりですので、こう書いたのには何か理由があったのかお聞かせいただきたいと思います。
事務局 ツーセンテンスで法令文を書くときの例に従ったものです。

委員長	段々難しくなってしまう印象がありますね。たたき台の書き方でも十分意味があると思います。
○	市民の役割の第1項の後段については、かなりきつい書き方になっていて、市民の意見表明などを抑制しかねないとも考えられます。第2回のC部会案の「自らの責任において」という文言で良いと思います。
委員長	第2回C部会のたたき台の書き方ですね。私もその方が良いように思います。
○	参画することができるとした場合は、参画しなくても良いということになりますね。市民としてまちづくりに参加することは義務にはならないのでしょうか。「やりたい人だけでやれば良いんじゃない」ということにならないのでしょうか。
委員長	その部分は大変難しく、強い表現にした場合は不利益条項を入れる必要が出てきます。C部会では、不利益条項を入れない書きぶりにしようという方針でしたので、その場合は、「参画することができる」程度にとどめることになると思います。例えば、帯広市は強い表現のため不利益条項を入れ、柔らかい表現とした稚内市では不利益条項を設ける必要がありませんでした。恵庭でも不利益条項を入れないというのであれば、柔らかい表現になると思います。
○	「参画することができる」とすると、参画してもしなくても良いということになってしまうように思います。稚内の場合は「できる範囲で参加するよう努めます」と書いており、参加することを進めるようになっています。C部会としてはどう考えたのでしょうか。
○	ここで書いたのは、参画することもできるししないこともできるという前提です。主に、参画するときの心構えというか、発言と行動に責任を持つということを考えたもので、参加を進めるという書きぶりにまでは思い至らなかったかもしれません。
○	他市では、権利と義務に分けて同じことを書いている部分について、ひとつにまとめたということから、書き方がどっちつかずということになってしまったかもしれません。今日の議員との意見交換でも、議員から権利だという意見もありましたので、皆さんの意見も聞いてみたいと思います。
○	少し考え方を整理すると、はじめに権利と責務について、それぞれ考えてみるというのはどうでしょうか。
委員長	そうですね。前回、市長と職員について「役割」と見出しを付けたために、規定内容が曖昧な感じになってしまったということがあります。そもそもとして、権利と責務に分けて書いた方が良いか、役割としてまとめた方が良いか、議会や市長なども含めて全て権利と責務を書く方が良いかなどを考えたいと思います。稚内市の例ですが、市民については「権利と責務」、市長と市職員については「責務」のみ、議会については「役割と責務」としています。まちづくりにおける職責の重さが違うことから、条例に規定する内容も変わってきています。多くの自治体では、そのような傾向にあると思います。
○	分かりやすいということ考えたため、大事なことが省かれてしまってはうまくありませんので、権利と責務について明確に謳われた方が良いと思います。私は、「参画することができる」と

<p>いう規定がひっかかります。</p>
<p>○ 同じ内容のことなのかもしれませんが、権利と責務にそれぞれ書くという方が良いのではないのでしょうか。</p>
<p>○ 私は、市民の役割としたときの「役割」という言葉のイメージがマイナスというか義務的なことばかりのように感じます。権利については含まれていないように思いますので、権利について書いた方が良いと思います。</p>
<p>委員長 市民については、権利を書くことが馴染みますが、議会や市長や職員についてはどうでしょうか。そのときに、役割という言葉で表すことはありますが、すべてについて「役割」とするのは少し議論しなければならないと思います。</p>
<p>○ 部会では、まちづくりに参画することは権利でもあり責務でもある。情報についても当然提供されなければなりません、自らも取りにいかねばならない。行政サービスについても、受けるのは当然ですが、負担だっしねばならない。その部分を一緒に書いたということですが、そのために意味がぼやけるというのであれば分けた方が良いのかもしれません。皆さんの意見をお聞きしたいと思います。</p>
<p>○ 他市と同じように権利と責務を書くのが良いのではないのでしょうか。</p>
<p>委員長 市民については権利と責務を分けて書くということではよろしいですか。規定案についてはどうでしょうか。もう一度部会で検討することはできますか。</p>
<p>事務局 実際に部会員の方に集まっていただくかどうかの方法は別にして、C部会で検討するように進めたいと思います。</p>
<p>○ ひとつ要望なんです、自主的と自発的の用例の違いについて言葉の意味を整理していただきたいと思います。2回目の部会で自主的が自発的に変わっておりますが、もう一度議論していただけないでしょうか。自発的というと、参加するきっかけが自らの意思という感じで、自主的というともっと踏み込んで主体的となってという意味が加わると思います。どちらかというところまで規定した方が良いと思います。</p>
<p>○ 前回の市民委員会で、修正条文まで作りました。そういうことであれば、今この場で修正文まで作れないでしょうか。</p>
<p>委員長 そうですか。それではここで少し議論をしてみましょうか。参加と参画ですが、参画の方が意味は強くなります。自発的とした場合は参加でしょうが、参画の場合は自主的とする方が馴染むでしょう。</p>
<p>○ 第1項ですが、「市民は、自らの責任において自主的にまちづくりに参画することができる」とするのが良いと思います。</p>
<p>○ 今日、意見交換会で議員のひとりが言っていた「参画したくとも参画できない人がいる」ということについてはどうでしょうか。</p>

○ 参画しやすい規定文にしてほしいというものでしたね。

委員長 参画できないという人について配慮してほしいというものです。例えば、責務にも同じように参画を書くことになると思いますが、そのときに稚内市のように「ひとりひとりの実情に応じて」のように書くなどが考えられます。

○ その意見では、二つのことを言っていました。ひとつは、条例として文章の文言が幅広く理解できるようにしてほしいということで、もうひとつは、参画するにあたって機会が容易に得られるようにしてほしいというものでした。よく中学生が読んで分かるような文章と言われますが、そうなるとここにある文章は漢字を相当削ってひらがなに置き換えるなどしなければならなくなります。ただ、それを考える必要があるかということで、全ての人を対象にするのではなく、義務教育を受けた人であれば読んで理解できるというもので良く、ことさら難しく書くことはしないという方針で良いのではないのでしょうか。ひらがなを多く使うということではなく、文章をすっきりさせて分かりやすくすることが大事なのではないのでしょうか。

委員長 そうですね。文章をすっきりさせるというのはとても重要だと思います。

○ 文章をすっきりさせて、なおかつ、権利と責務を明確にするのには、私は稚内のモデルが適切なように思います。

○ 稚内の規定ぶりは、いろいろと配慮をした感じになっていますね。不利益条項については今の時代でも必要なのでしょうか。参加しないから何か嫌がらせのようなことをされるということを想定しなければならないのでしょうか。

委員長 実際にそのために市民が何か文句を言うということはないかもしれませんが、条例の規定で責務として書くということなので、強く書いた場合は、不利益条項も盛り込んで手当てしておくべきだと思います。

○ 「努める」とした場合はどうでしょう。不利益条項は必要でしょうか。

委員長 どうでしょう。「努める」で止めないで、「努めるものとする」「努めなければならない」とすることが一般的だとは思いますが、不利益条項が必要とまではいえないかもしれませんね。

○ 町内会などでは、条例の規定に対して市役所が何かまた押し付けてきたというように感じる人も出てくると思います。苦情が出てくることなどが考えられますので、規定ぶりについては慎重になった方が良いでしょう。

○ そうかもしれませんが、そういった人たちのことを考えてばかりもいられません。

○ そうなのですが、強制的な文章を書くのではなく、いかに市民参加を引き出すかということのポイントを書くべきなのではないのでしょうか。

委員長 そうですね。もともと条例の趣旨がそうです。

○ 町内会などに対して具体的に何かをするように書くわけではないので、言葉としては何かある

わけではないと思います。
○ 私もこれまで分かりやすい言葉で条例を作りたいと言ってきましたが、出来上がった条例を見た市民がやる気になるかと考えると、この規定文は冷たい印象を受けます。自主的や自発的という言葉にも同じような印象があります。
委員長 今のご意見ですが、私も最初に規定文案を見たときに同じように冷たい印象を受けました。自主的や自発的という言葉については、他の言葉はありませんか。
○ 「一人一人の自由な意思」ですとか「自らの思い」などでしょうか。
○ そうですね。稚内市の規定文はとても伝わってきます。
○ 日常何気なく「自主的」と使っていますが、市民活動をしている人などは、自主的ということ意識しているのでしょうか、普通の市民にとってはどうでしょうか。
委員長 そうですね。今まで活動していない人、活動の仕方が分からない人を少しでも参加に近づけることが条例の趣旨ですから、表現については気をつけなければならない部分もあります。
○ 文章表現ですが、責任、自主性、自発性というのを止めて、「市民は自らの思いにおいて、まちづくりに参加することができます」というのはどうでしょうか。内容が弱いようでしたら、「思いと責任」としても良いかもしれません。
委員長 少し表現については考える必要がありますね。稚内市では、「一人一人の自由な意思」というように書いてありますが、一方で責務に「自らの発言と行動に責任を持ち」とも書いています。
○ 権利と責務を規定する方針にしましたが、権利については、「自らの意思でまちづくりに参画する権利」、責務については「できる範囲でまちづくりに参加するよう努める」ということで良いのではないかと思います。権利と責務だけを明確にすれば良いのではないのでしょうか。
委員長 あまりシンプルにすると、市長、職員、議会とのバランスがとれなくなってしまうかもしれません。
○ そうですね。やはりC部会でもう一度検討していただくのが良いかもしれませんね。
○ 権利と責務について分けて書くという方針ということですね。部会では、話し合っているうちに、権利も責務も同じことを書いているということに気づき、それなら一緒に書こうかという方針で進めました。
委員長 そうですね。権利と責務についてそれぞれ書くということと、分かりやすい文章表現ということを検討していただきたいと思います。他に要望はありますか。
○ 今のところのご意見では、まちづくりへの参画ということでしたが、情報を受け取ることや行政サービスについてはどうなのでしょう。

委員長	そうですね。情報の取得などについてはどうでしょうか。費用の負担についてはどうですか。どこか他に規定している市はありましたか。
○	ありました。話し合っているうちに、すべて対になっていると思いました。情報については提供と取得、行政サービスについては享受と負担ということです。
○	これはかなり強烈なメッセージになりますね。行政サービスの費用負担というのはどんなイメージなのでしょうか。手数料のようなものですか。
○	すべてを指しています。除雪やごみ処理のサービスが受けられますが、一方で税負担が生じています。また、施設などを利用する場合に使用料を負担したりします。部会では、「等しく」サービスを受けるということについて皆一様に同じサービスと解釈されないか心配という意見がありました。
○	意見交換会では、行政サービスを受けるということについては良いが、負担することができない人もいるのだから、負担については書くべきでないという意見が出ましたね。
○	負担については、例えば税で言うと、所得のない人は所得に対しての税負担は無い訳ですから、一様に同じ負担を求めているわけではありません。
○	税については、憲法に基づき法律の定めるところによって負担しているのですから、ここではあえて書く必要はないのではないのでしょうか。
○	部会で再度議論しますが、応分の負担については書かないということですね。すると行政サービスを受けるということについてはどうでしょうか。
○	不要ではないのでしょうか。
○	情報を受けることと取得することについてはどうでしょうか。
○	情報共有の部分での規定とバランスをとって書けば良いのではないのでしょうか。
委員長	情報については、ここで書いても良いですし、情報共有の部分にまとめることもできます。
○	権利であれば、知る権利ということから始まって市民の権利としてここに書くということになるかもしれませんが、権利ということを意識しないで情報のところにまとめて書くこともあるかと思います。C部会で再度話し合うにしても、市民の何について書くかはっきり決めておかないと方向が定まらないかもしれません。
○	知る権利ということをここで書かなくても情報共有で書けば良いのではないのでしょうか。
○	ということだと、第2項と第3項については書かなくても良いということですね。第1項の部分だけC部会で書くということですね。
○	稚内市の第3項の内容についてはどうでしょうか。市民同士の関係を書いています。

○ 市民同士が協力し合うという規定ですね。

○ 先日、恵み野の4町内会が合同で防災訓練をしましたが、4町の調整がとても大変だったと役員の方が言っていました。資材を持っている町内会、人を出すことができるところとできないところ、そういう調整が大変だったようです。そういう意味でも協力し合うということは必要な要素なのではないでしょうか。

委員長 恵庭ではそういうことはないのかもしれませんが、自治体によっては、NPOと町内会がうまくいっていないというところがあります。そういう部分から協力を書くということも現実にはあるかもしれませんね。

○ ここに書かないと仲良くできないという訳ではないと思いますが、部会での意見交換の参考にしたいと思います。

○ 稚内市の第14条第1項と第15条の第1項及び第2項を参考にするということですね。

委員長 ちなみに、稚内市ではNPOと町内会が対立しているという訳ではありません。条例制定時にはNPOは無かったと思います。

それでは、大変だと思いますが、C部会でもう一度検討をお願いします。では、次に議会と議員について話し合いたいと思います。

事務局 議会の役割についてご説明いたします。部会では、まず、議会に何を期待するかということをは話し合いました。最初に議会にはチェック機能を期待したい。議会と首長は、独立した対等の立場で互いにけん制する均衡と調和の関係にあるという二元代表制の下、議会のそのチェック機能を期待したいということで第1項が考えられています。次に第2項ですが、協働のまちづくりの担い手の一人として議会があるので、そのための議会改革を進めてほしいという考えをまとめました。

次に、議員の役割については、議員に期待したいこととして、個々の利益ではなく全体の利益を考える視点を持ってほしいということから、公正・誠実、倫理観、使命感、総合的な視点というキーワードを基に文章を考えています。そして、住民の代表として広く住民の意見を聞いてほしいということと、議員に求める資質として地域課題を的確に把握する力で、それを高める調査研究を行ってほしいということをまとめています。

委員長 議員の役割という見出しですが、内容については責務が書かれています。また、議会と議員を分けている自治体、議会のみ、議員のみなどとしている自治体がありますが、これについてはどうでしょうか。これについてご意見をいただきたいと思います。C部会としては、どういう方針だったのでしょうか。

○ 最初から分けて書くこととしていました。

○ その前に、今日の意見交換会で議会基本条例を作るといような話がありましたが、どうなっているのか教えてもらえないでしょうか。

○ これから作るという話でしたので、現在進行形のお話ではなかったようです。

○ お互いの基本条例は、相反するものではないので、それは気にしないで良いということでしたね。
委員長 そうですね。議会基本条例は、主に議会の内部手続を定めていますので、そんなに影響があるというものではありません。
○ 意見交換会での意見で、議会の政策形成について触れていないということと、議会改革について改革を条例で規定するのはいかがなものか、むしろ機能の強化や充実といったことを規定すべきではないかというものがありました。その意見に対しては耳を傾ける必要があるのではないのでしょうか。
○ 部会案の第１項にある「市政の重要事項の意思決定」という部分は政策形成に関する事項なのではないのでしょうか。もう少し政策形成というニュアンスを強めるのであれば、この部分を書き足すなりすれば良いのではないのでしょうか。
○ 二元代表制の考えが欠けているというような指摘があったかと思いますが、どういう視点で二元代表制と言っていたのでしょうか。
委員長 二元代表制は、市長と議会が別々に選出されるということですが、議員が主張することとして考えられるのは、市民参加と言っても選挙で選出された議員による議会があるわけですから、最終的な意思決定は議会が握っているということをはっきりさせたいということなのかもしれませんね。
○ 議会改革の取組みを進めているとお話されていましたが、具体的な課題をどう捉えているのか意見交換会で聞いてみれば良かったと思っています。もうひとつ、話を聞いた印象では、内部だけで議論しているように思いました。議事運営について議員だけで話し合いをしているように思いました。何か事務局で情報はありますか。
事務局 先ほど議会側から説明がありましたとおり、議会改革については当初議会運営委員会で議論していたところ、今期から諸派ができたため、改めて議会改革検討協議会という組織を作り、そこで検討しているとのこと。その中の懸案事項に議会基本条例の制定というのがあり、議論を続けているところのようですが、具体的な進行には至っていないと聞いています。
○ 諸派というのは何でしょうか。
事務局 諸派とは、会派に属さない議員のここのようで、単独のため会派が構成できない場合に諸派と使うようです。
○ 諸派は議会運営委員会には出席させないということですか。
事務局 会派制をとっているため、会派に属していないという制約があるようです。
○ それとは別に、議員から意見が出ていた「議会改革」という文言をどうするかという点については考えなければなりません。機能強化や充実といった文言で表すべきだと思います。



○ 部会でも、必ずしも悪いから改革するという意味ではないということで議論し、その説明もしようということになりましたが、伝わらないということなので変えた方が良いでしょう。
○ 「機能の充実・強化」という文言に変えたいと思います。最初に戻りますが、議会と議員については別々に書くことについてはどうでしょうか。議会と議員には求めるものと役割が違うということで別に書きました。
○ 何度もお話していますが、本会議と同じようなことを委員会でやっています。面と向かって言えませんでした、委員会では話し合いを進めてほしい。「議会」という機関の運営については別に考えたい。
○ 本日の意見交換会では、時間の関係があってできませんでした、本来は、議員と市民委員と同じ席で条例について議論すべきと思いました。住民投票の資格者から外国人を除くべきという意見などは、私たちに投げかけていたと思いますので、それをどう扱うかなどは議論すべきと思いました。
委員長 「開かれた議会の実現に努める」というような文言を盛り込むことなどを考えてはいかがでしょうか。
○ 副議長が、最後に議会改革検討協議会での決定事項をお話されていましたが、その内容については、正に議会の責務ということだったように思います。そのお話されていた原稿をいただくことはできないでしょうか。
事務局 わかりました。議会事務局を通じて提供いただけないかお願いしてみます。
○ 各議員は、自分の支持者と意思疎通はしていると思いますが、議会として市民との双方向のやり取りはしていないと思います。私は、今日の意見交換会などのように、議会として市民と意見交換をする場を作るような仕掛け作りが条例の中で書けないかと考えています。このため、議員の役割の3項に入っている内容は、議会の方に書いた方が良いでしょう。用語については、「行政課題の調査研究」というような言葉は固いイメージがありますので、違う表現ができないか考えたいと思います。
○ 議員についても「市民の信託に応える」や「市民のために」という文言を書き加えてほしいと思います。
○ 市長の方には入ってましたね。ということは、市民が選ぶ二元代表制のもう一方ということで、議員の方に書くことも必要かもしれませんね。
○ 議会の役割として、総合的な視点での意思決定、住民の意見を反映できるような事務の監視というように書くのはどうでしょうか。することに対して「何のため」というのを書くようにすることです。
○ 議員に対してではなく議会に対して求めるということですね。
○ 議会の部分では、第1項に自治法上の基本的な役割が書かれています。それは市政と議会との

関係で、今度は市民と議会との関係を第２項に書くというのでしょうか。
委員長 議員の３項を議会に持って行って、似たようなことかもしれませんが、政策形成の努力や自己研鑽を議員の３項に書くということでどうでしょうか。
○ 議会は市民の方を向いてほしいという思いを書きたいと思います。
委員長 例えば、「議会は、市民及び市とともに、協働のまちづくりを進めるため、機能の充実・強化に努めるとともに、市民に開かれた議会に努める」といった規定内容はどうでしょう。議会も議員も３項建てにするということです。
○ 議員の３項の部分を書くと、議員の３項にはどういう内容を書くことになりますか。
委員長 「議員は、政策形成に努力するとともに、自己研鑽に努める」という内容を書くということでどうでしょうか。調査研究については、議会としての役割にするということです。
○ ただ、議会の役割としたとしても、実際に調査研究するのは議員になるのではないのでしょうか。議員の役割に書いても特段問題はないと思いますがいかがでしょうか。
○ 私が求めたいのは、議会が市民と向き合う場を設けるようなことです。
○ 後段の部分ですね。活動内容をわかりやすく市民に説明するとした部分を議会の役割に書くということで考えたいと思います。
○ 説明するばかりでなく、市民の意見も聞くという双方向性を規定したいと思います。
委員長 そうですね。仮に議会基本条例ができたとしても、そういう双方向性については矛盾することはありませんので、書いても何ら問題はありません。
○ 市民と向き合うのは、議員についても求めていると思います。
委員長 そうですね。この部分は、なかなか分けられない事項ですね。議会と議員を分けて規定しているところもありますが、こういったことから一緒に書いているところもあるということです。このため、分けて書くか一緒に書くかは考えなければなりません。
○ 私の意図は、そこをあえて分けたいということで、議員に規定した場合、地域の利益誘導にも繋がるような意見集約を求めることにもなりかねないため、そうではなく、議会として市民の考えを把握するよう求めたいという趣旨です。
委員長 例えば、札幌市の規定を見ていただきたいのですが、第１０条に議会の役割及び責務を書いて第１２条に議員について書いてありますが、同じようなことを両方に書いてあります。個々の議員が集まって構成する議会ですので、同じようなことが書かれてしまうことになります。
○ 調査研究、市民への説明や意見を聞くことは、議員の大事な役割なんだと思うのです。なので議員に対してどうしても書きたいと思います。

委員長	そのため、札幌市では両方に同じように書いているということです。また、両方に同じことを書くのを避けるのであれば、議員に対しては政策形成能力を高め、自己研鑽に努めるというように規定するという方法も考えられるということです。
○	これも部会の方をお願いするということですね。だいたい方向は見えましたか。
○	議会は、政策決定の議決機関であるということをきちんと謳って、議員についてはそのための資質の部分と考えれば良いのではないのでしょうか。
委員長	そういう観点で、議員については公正・誠実や倫理観・使命感といった部分を書いていますよね。議会の方については、議員の第3項を持ってくるというご意見だったと思います。また、もし書きづらいようであれば、開かれた議会などの表現も考えて良いと思います。
○	市民意見の把握と分かりやすく説明するということを合体させたような表現で双方向性を書けたら良いと思っています。
○	議会について確認したいと思います。第1項については、部会案で良いということですね。第2項については、「議会改革の表現を変える」、第3項に、議会としての調査研究と市民との双方向性ということですね。
○	改めてですが、議会は、市の事務を監視するということで良いのでしょうか。どこのまちも書いていますが、監視ということで良いのでしょうか。向かい合ってる感じではなく対立したイメージです。
委員長	チェック機能ということですから監視という表現になると思います。
○	監査委員の一人に議会議員が入ることなども監視機能と考えて良いではないのでしょうか。
○	職員の方はどうですか。監視されているんですよ。
○	部会でも全く同じ意見がでました。また、どういう表現が適切かということについて相当議論しました。
○	例えば、部会では評価という言葉はどうだろうかという意見もありました。
○	基は、自治法の逐条解説であるとか、行政学での説明など、何かしらで用いられている表現なのではないのでしょうか。
委員長	そうですね。広く一般的に用いられていることからそう考えられますね。ただ、難しい表現であるため、違う言葉に置き換えられないかという考えもあります。
○	部会でもそうでした。しかし、チェック機能というようにカタカナを用いるというのも条例で用いる字句としてどうかということになりました。
委員長	なるほど。チェック機能という表現は非常にポピュラーではありますが、そういう話し合い

が行なわれたのですね。
○ 議論を蒸し返すようで申し訳ありませんが、ここに規定しようとしている内容は、非常に権力的というか厳しいものだと思います。
○ 市民との関係について書くのですからある程度厳しくても良いのではないのでしょうか。
○ 事務局に聞きますが、地方自治法に「監視、けん制」という字句は出てきますか。
事務局 記憶している範囲では、議会に関する規定には出てきていないと思います。ただ、二元代表制における首長と議会の役割の説明には一般的に用いられております。
○ 私は、必要な役割として違和感はありません。
○ 市長が執行する事務を監視するのでしょうか。それであれば、職員と議員は相容れないことになってしまいませんか。
○ 議会の役割としては、監視とけん制はあると思います。しかし、それに止まるのではなく、執行機関や職員と一緒にまちづくりを進めるということだと思うのですが、それをどう表現するかということが問題なのかもしれません。
○ 阿久根市の例のように、市長が独裁的に市政を執行するのを防止するのは議会しかできないのですから、好ましいかどうかは別にして、こういう表現が必要だということで部会で考えたものです。
委員長 チェック機能という言葉に置き換えるかどうかかもしれませんが、カタカナ表記ということについてはまた意見が分かれるかもしれませんね。
○ チェックという言葉日本語にしたら何になるのでしょうか。
○ 点検、検証、評価ということでしょうか。
委員長 表現としては少し弱くなりますね。
○ 監視というと、悪い人を見張っているというイメージがあるため、感じの良くない印象を受けてしまうということですね。検証というとそのイメージは無くなりますが、少し弱い表現になってしまいますね。
委員長 言葉のイメージという点も大事ですが、監視やけん制という表現は、現実に用いられている用語で、特段問題はないものではありません。今日、議員からの意見でも監視、けん制の機能を有しているというものがありましたので、ここを省くと、どうして省いたのかという意見がまた出てくるかもしれませんね。
○ 言葉の使い方は少し神経質になっても良いかもしれませんね。

○ 協働という言葉の定義については、市民と行政の協働のまちづくり指針でも定義しています。それをそのまま用いるかはまた考えることになると思います。

委員長 そのほかにも、見出しについて、役割とするか責務とするかについても話し合わなければなりません。議員について書かれていることは、ほとんどが責務になっています。議会については、第1項は役割と言えます。第2項と第3項は、責務になると思います。役割だけでは弱いので、役割と責務とするのが適切かもしれません。

○ 私も役割と責務とするのが良いと思います。

○ 役割とすると柔らかい印象になるためそうした感じですね。

委員長 そうですね。ただ、ここで書いている内容は、他のパートと違って「しなければならない」というようにかなり強い表現になっていますね。実際に責務を書いていますので、この部分もC部会で考えていただきたいと思います。

○ 議会に対して期待するような表現ができれば良いと思います。

○ 今日、副議長が読み上げた原稿をもらって内容を考えたいと思います。

委員長 C部会のみなさんは少し大変ですが、少し遅くなっても仕方ありませんので、本日の議論を基に修正案を考えてください。それでは、本日の委員会はこれで終了したいと思います。意見交換会から引き続き大変お疲れ様でした。